



令和8年8月1日発行

第83号

ながわまち

議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会 ■編集／広報広聴常任委員会 ■

●長和町議会 令和8年6月定例会

- ◇委員会審査報告 2
- ◇一般質問 4
- ◇議会活動報告 13
- ◇長和町「あの人を訪ねて」 16

社会文教常任委員会



阿部由紀子 委員長

委員長／阿部由紀子
副委員長／城内たき子
委員／田福光規
龍野一幸
諫山三武

社会文教常任委員会は6月10日（水）に委員会を開催し、付託された条例2件、令和8年度一般会計補正予算案1件の計3件の議案について審査を行い、すべての議案が可決すべきものと決定されました。（抜粋）

令和8年度長和町一般会計補正予算（第2号）について
既定の予算総額に1143万8千円を追加する。

住民生活課

30万円増
生ごみ処理施設運営
事業施設修繕費

生ごみ堆肥化処理施設の通気窓巻上ワイヤー破損による修繕と、一次発酵装置蓋部品の劣化による破損修繕の為、30万円の増額となりました。

保険福祉課

44万円増
福祉医療費給付事業
福祉医療費システム改修委託料

精神保健福祉手帳所持者の県費補助対象は今までの1・2級の通院のみでしたが、入院も県費補助の対象に拡大されたため、それに伴うシステム改修として44万円の増額となりました。

6月議会

長和町議会令和8年第2回定例会が、5月29日（金）から6月16日（火）までの19日間の会期で開かれ、条例案2件、令和8年度補正予算案1件の審議を行い、すべての議案が可決されました。また、8名の議員が一般質問を行いました。

審議結果は議会ホームページに掲載しましたので、下記QRコードからご覧下さい。



総務経済常任委員会



佐藤恵一 委員長

委員長／佐藤恵一
副委員長／荻野友一
委員／原田恵召
小川法樹
高田傑

令和8年度長和町一般会計補正予算（第2号）について
既定の予算総額に1143万8千円を追加する。

総務課危機管理係

農業振興一般事業 防災
備品として移動式かまどを
2台購入

問 移動式かまど1台で何人分まかなえるのか。
答 100人から200人分

問 対応人数となっている。
なぜ2台で、2台とも古町で運用していくのか。

答 古町コミュニティセンターには防災倉庫が完備されているため。平常時においても大勢の方に利用されるように管理して

総務経済常任委員会は6月11日（木）に委員会を開催。付託された令和8年度一般会計補正予算案について審査し、可決すべきものと決定されました。（抜粋）

問 他で使用する場合、配管もセットで考えているのか。
答 移動先で使用する場合はどのようなものが必要となるか考え、仕様書を作成したい。



ZINE はテーマもページ数も作者の自由

★ 語句解説 ★

「ふるさとミライカレッジ」とは？

大学生の視点を取り入れた地域課題解決プロジェクトに取り組む総務省の推進事業。若者の力を活かした魅力的な地域づくりや未来の地域づくり人材の育成・還流の取り組みを加速化させるため、三大都市圏外の市町村が大学等と連携し、学生のフィールドワークを受け入れて、実施する。

「ZINE」とは？

ZINE（ジン）とは、個人が自分で作る小さな冊子のこと。出版社を通さず、自分で文章を書き、印刷し、配る。テーマは日記や趣味など自由で多岐に渡る。「ZINE」は英語の「マガジン」の後ろ部分を取った言葉で、元はファン同士が好きなことを語り合うために作った小冊子「ファンジン」(fanzine) が始まりと言われている。決まった形式や商業ルールにとらわれない、個人の自由な表現物

「オーガニックビレッジ宣言」とは？

農林水産省の「みどりの食料システム戦略」に基づき、市町村が有機農業の産

地づくりに地域ぐるみで取り組むことを表明する宣言のこと。生産から消費まで一貫し、農業者だけでなく事業者や住民も巻き込んだ取り組みを進める市町村を「オーガニックビレッジ」と呼ぶ。各市町村は「有機農業実施計画」を策定した上で宣言を行い、国は2030年までに全国2000市町村での創出を目標に支援している。

488万2千円増

総合政策課 企画政策係

ふるさとミライカレッジモデル実証事業 大学等と地域が連携した地域課題解決のモデル創出と全国への展開を支援する総務省推進の国費事業

問 町に何人の学生が何回来るのか。

答 学生は10人を予定している。事業要件に14日以上の上の滞在が必要とのことから14日分を見込んでいる。

問 実証事業の期間は1年間だが、今後の関係人口

創出や観光発展に繋げる考えは。

答 観光協会が目指す目標としては、単に制作するZINE（冊子）をもつて成果とするだけでなく、次年度以降も継続可能な大学連携モデルへ発展させたい意向がある。

148万1千円増

産業建設課 農政係

みどりの食料システム戦略交付金 農林水産業の環境への負担を減らし、持続可能な発展を目指す農家や地域の取り組みを国が支援する補助金

問 みどりの食料システム戦略交付金について、携わっている団体は何名いるのか。

答 昨年、先進的に経営をされている農家の方に声をかけている

がけさせていただき、現在水田農家で5〜6者、農事組合法人信濃霧山ダツタンを、野菜農家2者を合わせると、10名程となっています。

問 オーガニックビレッジ宣言と今回のみどりの食料システム戦略交付金の関係はどのようなものか。

答 オーガニックビレッジ宣言につきましては、令和7年度に有機農業実施計画を策定し、3月に県

を通じて国と協議を行い、4月28日付で計画の承認をいただきました。その後4月末付で計画の承認をホームページに公表いたしました。今回のみどりの食料システム戦略交付金は初年度にこの計画を策定するためのソフト事業や試行的事業に取り組むための交付金となります。

1, 田福 光規 議員 …… P. 5

- (1) 長和町財政の現状と今後の課題について
- (2) 国道142号線、男女倉から新和田トンネルの道路清掃について

2, 荻野 友一 議員 …… P. 6

- (1) 長和町地域防災計画について

3, 阿部 由紀子 議員 …… P. 7

- (1) 粗大ごみ処理カードの周知と緊急対応
- (2) 中東情勢によるエネルギー・資材供給不安への対応
- (3) 自衛隊への名簿提供と除外申請制度について

4, 諫山 三武 議員 …… P. 8

- (1) 保育園における主食持参の在り方について
- (2) 子育て世代の移住促進と就学前教育環境の戦略的活用について
- (3) 精神保健支援体制の現状と持続可能性について

5, 佐藤 恵一 議員 …… P. 9

- (1) 「黒耀の水」を「高原の水の町」の宝として守り、未来に引き継ぐための質問
- (2) 長和町の景観維持のための道路管理(草刈り、清掃など)、不法投棄対策

6, 龍野 一幸 議員 …… P.10

- (1) 火入れについて
- (2) 上下水道分散化について
- (3) 敬老祝賀会について

7, 城内 たき子 議員 …… P.11

- (1) 長和町の防災について

8, 高田 傑 議員 …… P.12

- (1) 「長和町観光振興計画(案)」骨子の進捗状況について
- (2) 長野県宿泊税の施行について

質一般問

8名の議員が町政を問う！

令和8年第2回定例会では、6月3日(水)、4日(木)に一般質問を行い、8名の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

長和町財政の現状と今後の課題について

当町の財政は、 財政破綻寸前の 「財政危機状態」！

問 町の財政が赤字か黒字か、「実質単年度収支」の10年間の推移をお聞きたい。

答 町長 自主財源が乏しい当町の財政は、歳入の約半分を占める地方交付税への依存が大きく、財政運営は普通交付税の減収分を基金繰入金に頼る状況である。

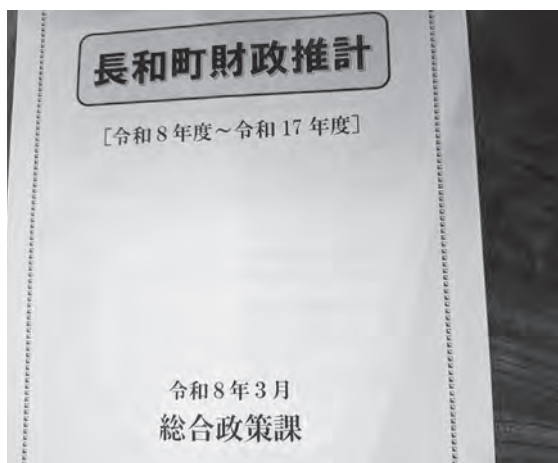
答 総合政策課長 「実質単年度収支」は、平成27年度と令和3年度以外の8年間は、年で2億円から4億円の赤字となっている。

問 10年間で、8年間で2億円から4億円の大赤字！
当町は、貯金を取り崩す財政運営が続いてお

り、深刻な事態。町の貯金に該当する「財政調整基金」残高の10年間の推移をお聞きたい。

答 総合政策課長 過去10年間の「財政調整基金」の残高は、平成27年度の28億5939万1千円から令和6年度は12億4532万円に減少している。

問 財政調整基金（貯金）が3年以内に枯渇する危険！
「財政調整基金」は、9年間で、28億6千万円から12億4千万円に約16億円減少しており、今年



度末には5億7791万5千円となる見通しである。このままの財政運営で推移すると、3年以内に枯渇してしまう、重大事態である。町の財政は、財政破綻寸前の財政危機状態である。

今後の収入増対策は？
ふるさと納税の寄付額、企業誘致での法人税等の増収を計画

問 今後の収入増対策をお聞きたい。

答 町長 令和6年度機構改革でふるさと納税特別任務室を設置し、ふるさと納税の寄付額を増やす取り組みを行っており、企業誘致等による法

人税等の税収増も考えている。また、今後、各施設、各行政サービスの効果検証、収支バランス等を精査し、施設使用料やサービスの料金の見直しなどの検討も必要と考えている。

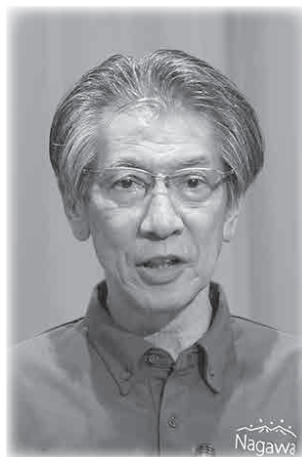
今後の支出削減対策は

人件費の抑制、負担金・補助費の見直しを実施

問 今後の支出削減対策をお聞きたい。

答 町長 更なる歳出削減のため、人件費の抑制や、施設の統廃合による維持管理費等の削減、負担金

や補助事業等の効果検証に基づく見直しなど、今まで以上にスピード感をもって歳出削減対策に取り組んでいかなければならないと考えている。



荻野 友一
議員

長和町地域防災計画について

長和町の防災の取組について

関心を高め、訓練することが重要

問 長和町の防災に関する取り組みについて町長の考えはどうか。

答 町長 いつ起こるかわからない災害の発生時に被害を最小限に抑えるために、ハード面での基盤整備、消防団の機能強化、町民の皆様の防災意識の醸成、町内全地域への自主防災組織の設置と防災リーダーなどの育成に努め、地域防災の向上を図らなければならない。

問 災害防災計画に住民の情報伝達について、障がい者の情報取得・意思疎通に係る施策の推進について、長和町では具体的にどう行うのか。

答 総務課長 障がいの種類及び程度は様々である

ことから、多様な情報伝達手段の確保に努めるとともに、関係者の皆様からの聞き取りを行い、どのように情報が迅速に伝わるか研究していく。

問 避難所の環境改善を図る取り組みの充実はどのように行われるのか。

答 総務課長 地域防災計画では避難所の環境改善を図る取り組みの充実として、トイレ、食事の栄養バランス、パーテーションや段ボールベッド等の簡易ベッドの設置、水の確保、避難者の健康状態や指定避難所の環境状況の把握等詳細な記載があり、町としても避難所運営に必要な備品の整備等、体制を整えていく。

問 実際に災害が発生し、停電、携帯電話の不通、道路の寸断による交通の遮断が起きたとき、避難者や被災者の状況をどのように情報収集しその対策を練るのか。

答 総務課長 整備されている防災行政無線について、有効な情報通信手段として活用できる運用体制を整備し、非常用電源設備の整備、衛星通信を活用したインターネット機器の整備等を行う。災害対策本部が設置されている場合は現地に職員を派遣し、消防団、自主防災組織、自治会・区会をはじめ、あらゆる機関と連携して行う。

問 町全体で防災に対する関心を高め、実際の大規

模災害を想定した具体的な取り組みを関係各団体が相互に理解し、確実に実行できるように会議を招集し、体制を整える必要を感じる。その体制を整えたうえで、町全体で行う防災、避難訓練が必要と考えるが、町長の考えはどうか。

答 町長 災害発生時には適切な行動を行うことが必要である。災害時の具

体的な状況を想定した日頃からの訓練は、住民に対する計画の周知、防災知識の普及、防災計画の検証、防災関係機関相互および住民との協力体制の確立等の効果も期待でき重要である。町全体で防災への関心を高めること、各団体の情報交換の機会を設けることは必要であり、避難訓練の在り方も含め検討していく。



安全に水、出せますか？



中東情勢に伴う原料調達難のため、一時的に白黒パッケージとなったポテトチップス



阿部由紀子
議員

中東情勢によるエネルギー・資材供給不安への対応

ナフサ不足、町指定ゴミ袋の状況はただちに品不足になることはない

問 原油やナフサ不足の影響により、生活や仕事に支障が出ているとの声がある。他自治体では指定ごみ袋の供給不足により透明袋で対応した例もあるが、長和町の状況は。

答 **住民生活課長** 製造業者からの納品が遅れたり、単価が前年に比べて大きく値上がりしている。原材料の不足の影響は少なからず出ているが、早めの発注を行い、安定的な供給が出来るよう努めていく。

問 学校や保育園での影響は？

答 **保健福祉課長・教育課長** 保育園では調理用手袋などの衛生用品が不足し始めており、保育物品も値上げ予定との話がある。学校給食関係については、今のところ不足になることはないが、使い捨て手袋やラップ、ポリ袋等、あらゆるものが値上がりしているため、今後の購入費に影響が出る懸念される。

問 医療業界や福祉施設での影響、今後の対策は。

答 **保健福祉課長** 依田窪病院では医療用手袋及び滅菌ガウン、検査に用いる滅菌コップの納期が遅れることがあり値上げと

なっているが、厚生労働省から医療器材の優先調達のお知らせがあり、病院でも一定数の備蓄があるため、現在のところ不都合は生じていない。福

問 農業者や各事業者への支援策の検討は？

答 **産業建設課長** 中東情勢が長期化し、農業や事業所への影響が拡大するのかわからない状況なので、動向に注視し、情報収集に努めながら必要に対応を検討していく。

自衛隊への名簿提供と除外申請制度について

制度の周知と除外申請制度の導入を関係機関と協議を行い検討していく

問 現在、町では自衛隊への住民名簿の閲覧提供を行っているが、対象者本人や保護者に対してどのような周知を行っているか。

答 **総務課長** 法律に基づく適正な情報提供で本人の同意は必要とされていないため、これまで町としては周知を行っていない。「知らないうちに名簿

提供が行われていることに不安を感じる」「事前に知る機会がほしい」といった声がある。他の自治体では除外申請制度を設け、HP等で周知を行う自治体も出てきているが、町ではこのような例を把握しているか。

答 **住民生活課長** 自衛隊から、例年3月上旬に募

問 長和町でも名簿提供の内容を周知すると共に、除外申請制度の導入を考えていただきたい。

答 **周知方法等、他市町村の状況を確認し、関係機関及び関係者で協議を行い検討していきたい。**



山 三 武
諫 議員

保育園における主食持参の在り方について

主食持参アンケートの結果は

保護者全員の理解が必要

問 昨年12月に続き同う。

1月のアンケートでは回答69家庭のうち59%が毎日提供を希望し、負担増でも毎日提供を望む声が54%と、令和4年の25%から倍増した。全国でも1年で104自治体が主食持参を廃止している。月額1000円徴収なら町の実質負担はいくらか。この結果は方針判断の根拠になり得るか。

答 保健福祉課長 アン

ケートは毎日提供59%、週2日提供25%、毎日持参12%。3歳以上児67人から月額1000円を徴収すると年80万4000円で、年間費用見込み367万円との差で実質負担は287万円となる。ただ提供には保護者全員

の理解が必要で、約4割は現行どおりか毎日持参

を望む。今後も意向調査と検討を行う。

子育て世代の移住促進と就学前教育環境の戦略的活用について

移住促進と保育環境の発信は

特色ある保育を一層PR

問 町の人口は合併時の7

304人から5383人に減り、減少は今も続く。出生率を令和5年の0.63から令和11年に1.66へ引き上げる目標があるが、出生数は令和3年25人から令和7年11人へと減少傾向だ。園では非認知能力を重視した保育を実践しているが、発信が「ホームページを見てもらう程度」に限られる。移住促進の位置づけと情報発信の方針、就学前教育体制の見直しは。

答 町長 医療費完全無料

化などの子育て支援や住宅支援、就労相談を一体的に進め、移住セミナーで保育園の特色をPRしている。

答 保健福祉課長 しめ縄

づくりや2園合同の「かがくタイム」「えいごタイム」など特色ある保育を、移住検討者向けの分かりやすいチラシを作成して一層PRしたい。子ども園化は地域の実情や国・県の動向をみていく。

精神保健支援体制の現状と、その持続可能性について

精神保健の支援体制の現状は

相談窓口の設置を検討

問 長野県は通報・措置入院件数が全国的に高く、

町には保健所がなく精神科医療機関も少ないなどの条件が重なる。支える側を支える仕組みも十分でなく、利用者の急変に戸惑ったボランティアが離れる事例も聞く。支援対象者の現状は。安全確保と連携体制、福祉有償運送を含む支援体制の持続可能性をどう考えるか。

答 保健福祉課長 令和8

年4月現在、精神保健福祉手帳所持者76人、自立支援医療受給者証所持者



佐藤 恵一
議員

若い世代が働きながら自治へ参画できる通報システムの構築を

スマホ道路管理通報システムを

現状の電話等通報で対応できている

問 過疎化の進む長和町では働き盛りの若い世代が自治会業務を担わざるを得ない状況が増加、こうした若い世代は、平日は仕事で電話ができない、窓口に行く時間もないという生活実態がある。道路損傷、不法投棄など通報に、「電話で説明」、「窓口で説明」、「担当者が不在ならば再度連絡」等電話・窓口前提の通報体制が若い世代に過大な負担を強いているという認識はあるか。また、「その後の対応状況がわからない」などの住民からの声に、従来型電話対応と同時に「スマートフォンでの「写真＋位置情報」形式の住民が簡単に通報できる仕組みの整備は

できないか。現状の体制の課題認識は。

答 産業建設課長 道路管理の視点・他の業務との兼ね合いもあり、担当者が不在で早急に現地確認できないこともあることは課題と言えるかもしれない。

問 通報システム導入の必要性について

答 産業建設課長 都市部と比べ、住民と役場の距離感が非常に近いこと、地区職員担当制度を設けていることから、地域情報が直接届きやすい事情がある。そのため、現状の電話などの手段によ

かかってしまうことが、1つの課題であると考えられる。

り通報を受ける体制で十分に対応が図れている。

答 住民生活課長 県でスマホ用SNS型アプリ「Prika（ピリカ）」による通報システムが導入さ

れ、6月1日より運用が開始された。当町においても、このシステムは有効となることから、導入に向け検討を進めてまいりたい。

黒耀の水を町としてブランド化するには

名水百選をめざす目標設定を

大変意味のあることだと感じている

問 黒耀の水を町の象徴資源として全国ブランド化するには。

答 町長 マナーの向上や、水汲み場及び水源を中心としたハード面の整備や科学的根拠に基づく取り組みの検討は、この「名水百選」の基準に到達するためには不可欠な取り組みであると考えて

いる。町としては、地元区の皆様との定期的な打ち合わせを行いながら、過去の経過も含め、管理等の様々な体制を検討する中で、町民全体で「黒耀の水の素晴らしさ」を共通認識として発信できるように気運を高める取り組みを実施してまいりたいと考える。



タイヤ不法投棄 旧中山道

域振興局への連絡を行い、関係者において現地調査が実施されている。通報を受けてから、関係者での現場立ち合いまでの間に時間が



龍野 一幸
議員

火入れについて

山林火災・獣害対策等に意図的に火入れを

安全確保を前提に慎重に対応していく

望していく。

多発している山林火災。未然防止策としての

防火帯作成や熊や鹿等の獣害対策において、忌避剤となる火入れの必要性を感じる。意図的・計画

的な火入れは検討できないか。

産業建設課長 山裾の

荒廃地化は、景観面や有害鳥獣対策の観点から課題であると認識している。火入れは様々な面で

効果があるため、地域の方から申請があった場合、安全確保や監視体制、実施責任の整理などの課題を解決した上で、

実施区域や安全対策、消防団等の連携体制等について十分協議を行い、安全確保を前提に慎重に対応していきたい。

敬老祝賀会について

敬老祝賀会、自治会に振ったが開催は

各自治会に様々な課題があり見送った

5月頭に、自治会で敬老祝いを開催することへのアンケートの送付が各自治会に送られた。結果は。

と感謝を示す代表として、首長が主催者になるのが筋ではないか、という声があった。町長の気持ちは。

保健福祉課長 17自治

会のうち、賛成3、反対7、その他7だった。送迎や設備等に課題が多く見送ることとした。

戦中・戦後、町と村を守ってきた方たちに慰労

町長 高齢者を敬い、長寿の祝いを行いたい気持ちはある。しかし、その開催は困難である。高齢者の楽しみとなり、継続できるお祝いの方

法を考えたと思う。

産業建設課長 河川管

河川敷の草刈りが安全優先の見地で、実施しない地区が増加。樹木は成長し、川の増水で流木が下流域に災害をもたらす可能性がある。河川対策を県に強く要望すべきだが。



古町橋・増水の様子

能登半島地震を契機に

国は水道事業において、地区人口・距離等、単位で分散型水道を導入する自治体に財政支援する方針を固めた。当町は集約型の長い距離を管理している。集約型・分散型のベストミックス、検討の現状は。

産業建設課長 現状は

地形を考慮して9地区で水道システムを構築し、一部地区は分散型に位置付けられる管理をしている。人口減少や設備老朽化対策も含め、各種条件に合致する地域選定をし、今後更に検討を進めていく。

上下水道分散化について

水道事業に分散型導入の検討はどこまで条件に合致する地域の洗い出しから進めていく



城内 たき子
議員

長和町の防災について

避難所の暑さ対策は万全か

4 避難所はエアコン未設置

問 「令和6年3月改訂 長和町地域防災計画本編」の概要版は完成したか。

答 町長 令和7年度の作業は終了しており、今後ホームページ等で公表していく。

問 避難所の暑さ対策はなされているか。

答 総務課長 指定避難所12か所のうち、エアコンが設置されていないのは長門町民体育館（一部を除く）、姫木コミュニティセンター、和田小学校体育館、湯遊パーク体育館の4か所である。厳しい財政状況もあり、他の暑さ対策も進んでいない。

問 指定避難所に停電の備えはあるのか。

答 総務課長 古町コミュニティセンター、長門老人福祉センター、大門基幹集落センター、役場和田支所、姫木コミュニティセンターの5か所に発電機が設置されている。

問 自ら避難することが困難な要配慮者や避難行動要支援者の名簿は作成され、更新は行われているか。

答 保健福祉課長 名簿を作成して更新も行っている。関係部署や組織と情報共有している。

問 名簿に基づいた、いざという時の訓練をしているか。

答 総務課長 名簿や個別避難計画に基づく避難訓練を町として実施していない。災害時に自主防災組織から要請があれば名簿を提供する。

問 町民の方から「避難場所の名称が分かりにくい」との声が聞かれるが。

答 避難施設は「緊急避難場所」、「避難所」、「福祉避難所」の3つで構成される。「緊急避難場所」は隣組程度が避難できる空き地、グラウンド等で、古町グラウンドや和田宿ステーション駐車場など。「避難所」は一定期間生活を送る建物等で、自治会単位で避難できる各地区の公民館等。避難所のうち「指定避難所」は災害対策基本法基準に適合し、町が開設・管理する。町民センター集会所、入大門センター等。「福祉避難所」は特別な配慮を必要とする人を受け入れる避難所で、老人保健施設いこい、山の子学園共同村等。「一時避難場所」は「広域避難施設」で、「指定避難所」である。分かりやすい表記となるよう検討している。

問 避難所で指揮を執るのは。

答 指定避難所は町長の指示で開設される。担当職員が配置されるが、場合によっては施設管理者等が運営を担う。

問 「長和町役場庁舎は避難施設ではないのか」と町民の方からよく聞かれるが。

答 役場庁舎について



指定避難所 古町コミュニティセンター



高田 傑
議員

長和町観光振興計画（案）骨子の進捗状況について

観光産業の再起と長期的なビジョンを

「線」そして「面」として繋ぐ

問 3月の一般質問させていただいた「観光振興計画案」について質問を行った。作成中の観光計画案骨子について、町はどのような課題認識をもとに策定を進めているのか。

答 町長 本計画骨子におきましては、町内に「点在」する観光資源、観光拠点、観光関係者を「線」そして「面」として繋ぎ、「観光」というキーワードを通じて、地域振興と住民の誇り（シビックプライド）の醸成を図りながら「住んでよし！訪れてよし！」といった観光まちづくりの実現、また今後の長和町における観光施策の指針となるような計画を策定していく。

問 計画を、理念や方向性の整理にとどめず、実効性のある計画にするため、具体的な施策、実行主体、年度ごとの工程、成果指標を盛り込む考えはあるのか。

答 産業建設課長 「住民協働のまちづくりの基本原則」及び「持続可能な観光まちづくり」についての認識を共有する「長和町観光振興計画策定委員会」を立ち上げ、その中から、策定に係る実質的な「ワーキンググループ」を設立、長和町観光振興計画骨子をもとに、様々な協議・策定を実施していく。

問 6月から導入された長野県宿泊税の施行について

「長野県宿泊税」の導入にあたり、宿泊税の交付の仕組みを

町への交付上限額は306万4千円

問 長野県では2026年6月1日から「長野県宿泊税」が導入され、当町にも市町村交付金として一定額が配分される見込みと認識している。長野県では使途・目的として、「観光インフラの整備」「宿泊施設の高付加価値化」「混雑緩和対策」「持続可能な観光地戦略（マーケティングやプロモーション）」など、県全体の観光産業の底上げを図るために、市町村へ分配されるが、宿泊税の交付の仕組みを伺いたい。

答 産業建設課長 市町村ごとに「一般交付金」と「重点交付金」という区分けした形で交付される予定で、当町におきましては「一般交付金」の交付上限額が202万1千円。また「重点交付金」の交付上限額が104万3千円。合計306万4千円と内示額が県より通知されている。一般交付金は、当町での宿泊実績を基にした宿泊者数割、周遊実績による周遊者数割により算出された交付上限額となっている。「重点交付金」については、長野県宿泊税活用計画で定める「重点テーマ」に該当し、かつ市町村又は県との連携による事業が交付の条件となっている。



初夏の美ヶ原高原の風景

議会活動報告

■議会報告懇談会

5月16日（土）、令和8

年度第1回議会報告懇談会を開催しました。午前は和田コミュニティセンター、午後は役場・町民ホールの2会場で行い、「令和8年度長和町一般会計予算」をテーマに、議員が内容を報告し、参加された皆さんと意見を交わしました。

原田議長は町の財政状況を説明。財政調整基金（町の貯金）は10年ほど前の約28億円から、昨年3月時点で約12億円まで減少しており、このままでは数年で底をつくおそれがあると危機感を示しました。要因の一つが依田窪病院の経営で、

町の将来を 町民と語る ワークショップ



地域医療に欠かせない一方、昨年度は赤字となり、町は多額の繰入金を負担しています。

続いて田福予算特別委員長が、令和8年度一般会計予算（約60億円／特別会計と合わせ約80億円）を説明。自主財源は約18億円にとどまり、地方交付税などの依存財源が約42億円を占めます。主な事業として、デジタル化、デマンドバスのICカード導入、黒耀石大使の国際交流、商工振興のプレミアム付商品券、依田窪医療福祉事務組合への負担金などを紹介しました。

質疑では、依田窪病院の医師体制や赤字解消の見通し、上田地域の医療連携について意見が交わされました。また水道料金の25%値上げをめぐり、独立採算の仕組みや水道管の老朽化・耐震化への対応、人口減少を見据えた経営について質問が出され、コスト削減を求める声も上がりました。

後半は「活気ある長和町にするためには」をテーマ

にワークショップを実施。午前の部では観光・福祉・教育など幅広い論点が挙がる中、特に盛り上がったのが「水」でした。良質な水を生かしたウイスキーや地ビール、コーヒーなどの特産品づくり、静けさを味わうデジタルデトックス、質の高いSNS発信の必要性が語られました。もう一方のグループは「若者の働く場所の充実」を掘り下げ、日用品店や温泉、シェアハウス、AIを活かした産業など、「若者が行きたくなる地域づくり」が第一だと結論づけました。いただいた意見は今後の議会活動に活かしていきます。

（報告…諫山三武議員）



ワークショップの様子
（役場町民ホール）

■上田地域広域議会臨時会

議長交代 人事一新 5月臨時会



令和8年5月25日（月）、上田地域広域連合議会5月臨時会が開催されました。上田市議会議員の改定に伴い、上田市議会より新たに13名の広域議会議員が選出され、議長選挙が行われました。

■議長選挙 指名推薦により、上田市議会の飯島伴典議長が当選しました。

■人事 監査委員に東御市の柳沢秀夫氏と議会から齋藤加代美議員が、公平委員に長和町の金山睦夫氏が選任されました。

■議案 「上田クリーンセンターバグフィルター用ろ

布の購入について」（指名競争入札、4540万8千円）の提案・審議、「消防特別会計繰越明許費繰越計算書」の報告があり、全員賛成で可決・承認されました。

■報告

1. 上田地域広域連合広域計画の策定について
2. 資源循環型施設整備・運営事業に係る入札・広告の概要について
3. クリーンセンターの運用方針についての報告・協議を行いました。

丸子クリーンセンターは、施設の老朽化により安定稼働の維持が困難な状況であり、維持管理経費が増大の一途をたどっていることから、「修繕による延命」から「早期休止による処理の集約」に方針転換し、令和10年3月を目途に、休止（焼却停止）し、上田クリーンセンターへの集約を進めることをめざす事が報告・了解されました。

これに伴い、上田市と長和町の負担金が大幅に抑制

■全国町村議会 議長・副議長研修会

人口減少に 立ち向かう 地域づくりを！



でき、長和町は約5300万円の減額の見込みです。
（報告…田福光規議員）

5月26日（火）、東京国際フォーラムで標記研修会が開催されました。参加者は全国の町村議会の議長・副議長で926町村約2000人が対象でした。研修会は4部構成で、長野県は日帰りができますが、遠方の方々は泊りで研修になり、一大イベントでした。

第1部は地域活性化センター理事長林崎理氏が、地方創生で活発に町づくりを

議会だより 83 号の表紙について

今号の表紙を飾ったのは「レンゲツツジの花」です。ツツジは長和町の「町の花」に指定されており、レンゲツツジは合併前の旧和田村で、ミツバツツジは旧長門町で、それぞれの「町の花」として親しまれてきました。花言葉は「節度」「慎み」です。

レンゲツツジはツツジ科の落葉低木で、5～6月頃、朱色やオレンジ色の花を咲かせます。名前は、輪のように並んで咲く花の姿を蓮華（ハスの花）に見立てたことに由来します。日当たりの良い高原や山地に群生し、日本のツツジの仲間では最も花が大きいのが特徴で、新緑の中に鮮やかな彩りを添えます。町内でも初夏を告げる花として親しまれているレンゲツツジ。今年もどこかで、その姿を目にした方も多いのではないのでしょうか。

している町村を例に挙げて、なぜ地方創生が必要なのか講演しました。

第2部は東海大学教授万城目正雄氏が「外国人材の確保・育成」をテーマに講演。日本の外国人労働者257万人のうちベトナムが最多23%の60万人、中国16%、フィリピン10%と続くとのこと、アジア系が多い現実を知りました。技能実習として働く人は

20%、その数は10年前の約3倍とのことでした。長和町でも依田窪病院で技能実習生の女性が働いており、いまや外国人労働者なしには地方も回らない世の中になっています。

第3部は京都女子大学長竹安栄子氏が、女性の都市部流出や男女の給与格差（男性の78%）、女子議員の少ない市町村に無投票が多い傾向を講演しました。隣

6月30日(火)、令和8年上田市長和町中学校組合第1回臨時会が開催されました。上田市選出議員が改選されたことを受けて、新たな議長(松山賢太郎市議会議員)、副議長(阿部由紀子町議会議員)、監査委員(金子和寛氏)が選任されました。

上田市長和町中学校組合臨時議会

新体制で始動 臨時会にて 3議案を可決



の下諏訪町は女性議員13人中5人ですが前回は無投票であり、少ないと無投票になりがちとは言いがたいです。私個人とすれば、女性議員がもっと増えたほうが

いいと思います。第4部は「女性模擬議会の取り組み」として、宮城県蔵王町の3名の女性議員が登壇し、竹安学長のコーディネートによるパネル

■財産の取得 令和8年度長野県GIGA基金1人1台端末整備事業補助金を利用し、生徒用端末192台・教師用端末6台を取得する件です。審議を行い、全員賛成で可決されました。

■「中学校組合いじめ問題対策調査委員会等条例」を制定するとの議案が提出され、審議を行い、全員賛成で可決されました。

■令和8年度一般会計補正予算について審議を行い、全員賛成で可決しました。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ859万1千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ2億2319万1千円とするものです。

施設整備事業基金219万1千円、学校教育施設等整備事業債640万円が増額



中学校組合第1回臨時会の議案書

ディスプレイで、議員の成り手不足や女性議員を増やそうという中での現況が話されました。

(報告：原田恵召議員)

されたためです。特別教室棟の理科室等7室12台の空調設備設置工事費用とされています。

(報告：城内たき子議員)

4月の上田市議会議員の改選に伴い、事務組合議会議員が新たに選出され、副議長選挙が行われました。

■副議長選挙 指名推薦により、上田市議会の斎藤加代美議員が当選しました。

■承認第1号「依田窪医療福祉事務組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」が承認されました。

■その他 田福光規議員より「依田窪医療福祉事務組合に係る負担金割合の見直

6月30日(火)、依田窪医療福祉事務組合議会令和8年6月第1回臨時会が開催されました。

医療福祉事務組合臨時議会

負担金割合の見直しを要望 理事者会で検討へ



しについての要望」が出され、今後、依田窪医療福祉事務組合理事者会で検討することになりました。

依田窪医療福祉事務組合の負担金割合の見直しについて

依田窪医療福祉事務組合の上田市と長和町の負担金割合は、長和町と旧武石村区域の人口割で算出されており、令和8年度は、長和町64・上田市36の比率となつてゐる。しかし、令和7年の依田窪病院の地区別入院のべ患者数は、長和町8602人(30・9%)、上田市19268人(69・1%)と上田市の患者数が長和町を大きく上回つてゐる。この状況を踏まえ、負担金割合を武石地域人口と長和町人口の比率ではなく、実際の患者数の状況を基本とした負担割合とするよう見直し・再検討を行つていただきたい。以上、長和町議会議員の総意として要望する。

(報告：田福光規議員)

依田窪医療福祉事務組合の上田市と長和町の負担金割合は、長和町と旧武石村区域の人口割で算出されており、令和8年度は、長和町64・上田市36の比率となつてゐる。しかし、令和7年の依田窪病院の地区別入院のべ患者数は、長和町8602人(30・9%)、上田市19268人(69・1%)と上田市の患者数が長和町を大きく上回つてゐる。この状況を踏まえ、負担金割合を武石地域人口と長和町人口の比率ではなく、実際の患者数の状況を基本とした負担割合とするよう見直し・再検討を行つていただきたい。以上、長和町議会議員の総意として要望する。

(報告：田福光規議員)

長和町 あの人を訪ねて

— 第29回 —



せき こういちろう
関 浩一郎 さん
(大門・四泊)

略歴・活動

1985年生まれ。長野県松本市出身。高校卒業後、東京に約9年、その後軽井沢町に約10年居住。結婚後、長和町に移住。前職は高速道路の維持管理作業員。

広報広聴常任委員会が町民の皆さまを訪ねて、意見や活動をお聞きます。

問 現在の長和町でのお仕事と創業した理由は？

答 2022年に長和町に移り住み、2024年に新規就農しました。今年で三年目になります。ミニトマトを約17aで栽培しています。農業を始めようと思った理由は色々ありますが、大きく2つ、「食」という生きていくことの根幹に近い仕事をしたかったことと、外仕事が好きだったことが主な理由です。長和町に移住したのは、妻の実家と職場が長和町にあり、長和町で生活するのが一番良い選択だと思ったからです。

問 長和町の特徴という一つは「谷間の町」だと言えませんか？

答 長和町の特徴という一つは「谷間の町」だと言えませんか？近いです。そのために山がとても近い。私も長野県出身ですが、これほど山が近い環境での生活は初めてで、今でも農作業の合間などに目の前の山を眺めて、山の樹木の立体感や造形に心を奪われ、圧倒されることがあります。また、雨上がりに山の土の匂いがあると、胸がスーッと新鮮なすがすがしい気持ちになります。山が近い町ならではのことだと思っています。

また、田んぼを一枚借りてお米を作っていますが、そこでの生き物観察がこの時期の楽しみの一つです。先日は初めて見る

ホウネンエビという甲殻類の一種を見つけました。名前の通り豊作の年になるといいですね。もう一つ、長和町にきて驚いたことは水道水が綺麗だということです。我が家は水道水をポット型の浄水器でろ過して飲むことを習慣にしてみました。が、通常、浄水器のフィルターは数か月で不純物が詰まり、ろ過に時間がかかるようになってくるのでフィルターを交換するのですが、長和町に来てからはフィルターの交換をまだ2回しかしていません。これには本当に驚きました。

問 将来の夢と抱負は？

答 試行錯誤の毎日で、特に今年には農業を始めてから初めての梅雨らしい梅雨で、ミニトマトが過湿で枯れたり、ポンプで畑の排水をしたりと、初めての課題が多い年です。以前、先輩農家に「農家は毎年一年生みたいなもんだよ」と言われましたが、だからこそ、いろいろやりくりしていく中で楽しみも多いと思います。出来ただけ長く農業を続けていきたいと思っています。

ながわまち 議会だより

広報広聴常任委員会

委員長 龍野 一幸
副委員長 諫山 三武
委員 田福 光規
佐藤 恵一
阿部由紀子

ること、車に轢かれた鹿が道端に倒れていること、冬は洗濯機が凍りつくこと、車庫証明が不要なこと等々。▼特に驚いたのが懇親会の「万歳三唱」文化です。他市町村議会との懇親会では、終盤にどこからともなく「その日の担当者」が現れ、締め挨拶を行い「〇〇町議会、ばんざーい！」と皆で相手方にエールを送ります。すると相手方も「それでは返礼の万歳を」と言つて、今度はこちらがエールを受ける番です。▼最初は面食らいましたが、今ではすっかり見慣れた光景。新参者にとっては、まだまだ驚くことがありそうです。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第83号は、諫山三武議員です。



▼東京から長和町に移住して、はや2年。この2年間は東京ではあり得ないカルチャーショックの連続でした。リンゴの本当の美味しさ、ご近所さんからの野菜のおすそ分け、夜8時には眠くならないこと、冬は洗濯機が凍りつくこと、車庫証明が不要なこと等々。